



## 東京YMCAのボランティアリーダーとは?



「リーダー」は、安全なプログラムの進行を支えるためのトレーニングを受けた、学生ボランティアです。保護者でも教師でもないリーダーたちは、仲間の一人として子どもたちの関係をつなぎ、一人ひとりの気持ちに寄り添う、YMCAのキャンプに欠かせない存在です。

そして、リーダーが安全にスキープログラムを展開し、子どもたちの成長を支えるひとときは、彼ら自身が成長していく時間もあります。

## 「全部自分が」じゃなくていい

**とらい**:スンちゃん、リーダー4年目だね。今どんなことを感じている?

**スンちゃん**:最初は本当に自信がなくて。スキーも夜のグループタイムも、果たしてみんなが楽しんでくれるのかどうか、ドキドキしていました。

実は今も、そんなに変わらず自信はないんですよ。キャンプから帰つてくると、ああすればよかった、こうすればよかったと、振り返りすぎて落ち込んだりします。

**とらい**:振り返ることができるってことは、まだ余裕があるってことだから大丈夫。それに自分が現役の頃のことを振り返ってみると、「今回はバッチリうまくいったなあ」なんてキャンプは一回もなかったよ。

## 現役&OB OG リーダー Free Talk

リーダー  
4年目  
です!

リーダー  
瀬戸口 潔さん  
キャンプネーム:スンちゃん

大学や専門学校を卒業すると同時にリーダーも卒業しますが、その後社会人として活躍しながらもプログラムに参加し、現役リーダーをサポートしてくれる皆さんがあります。今回は、そんなOB OG リーダー2人と、現役リーダーのフリートークに耳を傾けてみました。

広告会社に勤めています。  
リーダートレーニングによくサポートに行ってますよ。

OB  
米田 直人さん  
キャンプネーム:とらい

小学校で教員しています!  
たまに、キャンプもお手伝いしています。

OG  
網盛 さや香さん  
キャンプネーム:おかげ

**おかげ**:私は、小学生からYMCAのキャンプに参加していて、大学生でリーダーになったのだけど、その時、「私たちはここまで見られていたのか!」って、驚いたのを覚えている。

たとえば、「誰々が2日前の初日はお弁当を完食していたが、今日はどれだけ残していた。体調が悪いかもしれないから、みんなで気をつけてあげよう」という話がミーティングの中で出てくる。「えっ、リーダーってそんな細かいところまでチェックしていたのか!」と。しかも、それを子どもたちにはみじんも感じさせずに。



# 決まった楽しみをなぞるだけじゃないところが、YMCAのいいところ



**おけひ**: だから私も、リーダーは完璧じゃないといけないと思っていたんだ。それで、やっぱり全然うまくいかなくて。でも「分からぬことは子どもたちに頼ろう」と開き直ってから、ガラッと変わった。

**スンちゃん**: 少なくとも、リーダーを始めた当初と比べたら、みんなの顔が見えるようになってきたのかな、と思っています。笑顔も、不安そうな顔も。

そこを見るができるようになってからは、「何をすればいいのかな」と考えて、ある子にはよく話しかけたり、なにかを自分でしようとしている子は、少し遠くから見守ってみたり。それが果たして正しくできているのかどうかは分からないのですけど。

**おけひ**: え、それでいいんじゃないと思うよ?

**スンちゃん**: そんなものですかね?

**とらい**: 困ったら、「困ったなあ」って子どもたちに相談して、一緒に困る。それで一緒に解決してもらったりして。その時間も含めて、楽しくなってくるのが、YMCAのキャンプのいいところじゃないかな。「全部自分が」って気負わなくていいんじゃないかなって思ってる。

大切だし、もはや私もちょと見習わなければ、と思っている部分ではあるのだけど、「やってあげなきゃ」は、気をつけないと、ちょっと上から関わることにつながる。ここは、もっと子どもたちとフラットに向き合うことで、充実した時間がつくれる場所だから。

**スンちゃん**: リーダー会でいつも話し合っているのですが、子どもたちの、自分で、自分たちでやろう、とすることを見守ってあげたいというのは、いつも大切にされているテーマなんです。そんな子どもたちの充実した時間をつくるために、私たちリーダーも、その場の一員として満喫できる場作りをしたいですね。

**とらい**: 最高の時間を提供したいって気持ちは大切だけど、完璧なストーリをつくるなくてもいいんだと思っているよ。現役の頃、プログラムの中でうどん作りをしたことがあるんだけど、ぼくがものすごい下手で、とんでもない太さのうどんが出来ちゃったのね。あちゃー！こりや失敗だって思ったけど、みんなは「とらいのうどん、太い！」って大爆笑。これは、今もなお当時の子どもたちの間で語り継がれて「とらいの太いうどん伝説」になっている。

**スンちゃん**: 伝説になるほどの太さ!!

**とらい**: 失敗だったけど、喜びがあって楽しい時間だったね。そう、「弱いところを人に見せられるのって、いいことだよ」って、現役の頃に先輩リーダーに言わされた一言が、今でも印象に残っているんだ。今も小学校の教師やりながら、大切にしていること。

そして、人に対して接する時はその反対で、弱点を指摘するのではなく、いいところを見つけてあげる。これは、自分の弱さを人に見せられる人にしかできないことなんだ。

**おけひ**: なにをやるかなんて手法にすぎないからね。決まった楽しみをなぞるだけじゃないところが、YMCAのいいところだと思うよ。子どもたちにも、そういうことの大切さを知ってもらえる時間になら嬉しいな。



## 弱いところを人に見せられる強さ

**おけひ**: 現役のリーダーたちの相談を受けていると、同じ様に「どうしたら子どもたちを引っ張っていくのか」って考えている人は多いみたい。その責任感は

リーダーOG 網盛 さや香さん

キャンプネーム: **おけひ**

広告制作会社に勤務する多忙な日々の中、キャンプにも参加してくれているOG。現役リーダーたちに、さまざまな視点でアドバイスをするも、「恐れられている気がする……」と、少し不安に思っている最近。



リーダー 瀬戸口 潔さん キャンプネーム: **スンちゃん**

小さい頃からのキャンプ好きが高じて、リーダーに。現在大学4年生。在籍する薬学部は6年制なので、あと2年リーダーとして活動する中で、子どもたちとどんな時間を作っていくか考える日々。

リーダーOB 米田 直人さん

キャンプネーム: **とらい**

私立小学校の教員をしながら、長期休暇にはサポート的な立場で、YMCAのキャンプに参加しているリーダーOB。現役リーダーの活動を、一步引いた視点で支えている。